

■ 第七回 原子力安全部会賞（講演賞）について

原子力安全部会では、原子力安全そのものを対象とし、専門領域に横串を通すような研究発表を奨励するために 原子力安全部会賞（講演賞）を設立し、年会・大会における優秀な講演を表彰しています。

2022 年 秋の大会でご応募いただいた講演を審査した結果、次の講演が「第七回原子力安全部会賞（講演賞）」に選ばれましたので、お知らせします。

また 2 件のポスター発表を「原子力安全部会賞（学生講演賞）」に選びました。

第七回原子力安全部会賞（講演賞）

シビアアクシデント時の水素処理システムの開発 Phase-II

(5) 低発熱処理材の水素処理性能予測

東芝エネルギーシステムズ 岡部 寛史 氏

本研究は、過酷事故後の水素処理システムを開発するための基礎研究に位置づけられる。このシステムの基本設計では、水素処理材からの発熱が課題となっている。

受賞者は、発熱性の低い新しい処理材を利用するために、その反応率を評価するための化学反応のモデルを構築しており、研究内容に新規性が認められる。

発表はシリーズ講演の一部であるが、受賞者の発表と質疑応答が明瞭であったことに加えて、若手中心のプロジェクトにおいて全体をリードしている様子が他の発表からも見受けられたことから、本講演を表彰することとした。

原子力安全部会賞（学生講演賞）

NMB4.0：統合的な核燃料サイクルシミュレーションコードの開発

東京工業大学 岡村 知拓 氏

高レベル放射性廃棄物中の不溶解残渣(白金族合金)に含まれる Mo の酸化・蒸発評価

東京都市大学 田中 征志朗 氏